

<記入例>

チャレンジ部門

<様式-3>

申請事業に関する活動計画書

事業名	耕作放棄地を活用し、元気な地域を作る
1. 申請する活動・事業と目的を記入して下さい。 〇〇市は、高齢化が進み、耕作放棄地がたくさんある。今回は、この耕作放棄地を活用し、季節の花や野菜を植え希薄になってきている地域の人とのつながりを取り戻すきっかけを作る。また、花や野菜の定植時にも小学生や近所の方にボランティアを依頼し、一緒に地域づくりをおこなう。専門の先生にも来ていただき、野菜作りのコツなど参加者にもメリットがあるように工夫する。	
2. 従来の活動と異なる点は、どのようなことですか？（創造新規性） これまで、耕作放棄地の利用だけをしてきましたが、今回は地域の方々を巻き込み、季節ごとにイベントを組むことで、地域の人がつどい、交流できる場を提供する。	
3. 今回の事業の詳細（実現性）	
実施項目（箇条書きで）	主な活動内容（実施、時期・頻度・対象の人数など）
<ul style="list-style-type: none">耕作放棄地の活用イベントの開催	<ul style="list-style-type: none">10月より地域のボランティアの方を募り、初めていく。2週に1度くらいの頻度で畑に出向き、おこなう。参加しやすいように登録ではなく、来られるときに自由にきていただく。2ヶ月に1回程度、イベントをおこなう。郷土料理や味噌など参加者が興味を持ち、参加できるもの。講師は、地元の方を予定。

4. 活動を行う際に、地域の他の諸団体との連携を計画している場合は、どこにどのような協力を依頼するかを記入して下さい。(参加性)

- ・〇〇市の広報紙にイベントの掲載依頼。
- ・〇〇小学校、中学校に声をかけ、ボランティアを募る。

5. この活動によって地域にどのような効果が見込まれますか?具体的な目標を記入してください。

(地域貢献性)

- ・耕作放棄地を地域全体で活用することで、環境について考えることにも繋がる。また、季節ごとに定期的にイベントをおこなうことにより、希薄になってきている地域の人たちとのつながりができ、連携がとれるようになる。家にこもりがちなお年寄りや小さな子連れの方など他世代の交流もはかれる。

6. チャレンジ事業継続のための、助成終了後の財源についてどのように考えていますか? (発展性)

- ・イベントごとに寄付を募る。
- ・賛助会員になってくださるよう声かけをおこなう。

7. 助成金の主たる使途

費目は、物品購入費、旅費、印刷費、通信費、謝金(外部講師のみ)、事務所経費、人件費、その他の経費、が対象になります。但し、根拠が不明確な場合は助成対象を減額させていただきます。

内助成金活用額合計欄は、交付申請額が1万円単位ですので合計金額欄には、**万単位**で記入ください。

(備品購入に関しては、見積書またはカタログのコピーを添付してください。)

(事務所経費、人件費は、その合計が助成申請総額の50%以内。ボランティア保険料は助成対象になりません。)

費目	内容(単価・数量など)	金額(単位:円)	
		必要経費	内助成金活用額
物品購入	丸のこ	25,000	25,000
〃	丸のこ替刃2枚	10,000	10,000
〃	ベンチスタンド(丸のこ用)	8,000	8,000
〃	木材一式	60,000	60,000
〃	釘2箱	3,000	3,000
〃	ペイント6色	7,800	7,800
謝金	指導料(講師)2回	40,000	40,000
人件費	スタッフ賃金1回5,000円×50人	250,000	170,000
その他経費	雑費・配送費等	30,000	26,200
合計		433,800	350,000

8. その他

(1)他の助成金に申請していますか。いずれかに○をして下さい。(している していない)

(2)他の助成金の結果が分かるのはいつですか。 〇 月頃

(3)この助成金を何でお知りになりましたか。(ホームページ、チラシ)

